

安倍自公政権が、戦争法案を衆院で強行採決する中、「関西から『反対』の声を大規模に上げ、法案を本

デモ 隊列途切れず

大阪 SADLとSEALDs KANSAIが共催

2/20
五旗

「止めよう」と19日、主催者発表で8200人の青年・学生などが大阪・御堂筋をデモ行進しました。主催は、10~40代の市民でつくるSADL（サドル）（民主主義と生活を守る有志）と、関西の学生によるSEALDs KANSAI（シールズ関西）自由と民主主義のための関西学生緊急行動）。

参加者は、音響機材を積み、コールの先導役を乗せたサウンドカーを先頭に、思い思いのプラカードを手に「戦争法案今すぐ廃案」などと声を合わせました。学生や青年、親子連れが目立つ隊列は30分たっても途

切れず、道行く人が「自衛隊が…」と会話するなど、周辺の注目を集めました。初めてデモに来た堀田慎平さん（25）＝奈良市＝は「解散を変えれば何でもありというのはおかしい。「連休を挟めば国民党は忘れる」という政府の思うつぼになるのは嫌なので、声を上げていきたい」と語りました。

7歳の娘と滋賀県から来た女性（37）＝会社員＝は「衆院は通ったが、戦争だけは仕方ないで済ませられない。深く考えず、感情だけで突き進む人に憲法をいじつてほしくない」と話しました。



戦争法案に反対する関西デモに参加する人たち 19日、大阪市